

## 立山町長からのメッセージ

“ちょうどいい” 公共交通を創りたい ——。

そのためには、あなたの力が必要です。

立山町では、“ちょうどいい” 公共交通を目指しています。これを実現するためには、町だけではなく、皆さんのお力が必要です。

私が生まれた昭和 40 年頃に比べて、地鉄立山線五百石駅の乗降客数は 5 分の 1 になりました。クルマで通勤する人が増え、高校生が減少したことが主な原因と考えています。そのため、公共交通事業者におかれては、電車の車掌を配置しないなどの人件費の削減にも努めて来られました。しかし、もう一つの基幹的な交通インフラである路線バスは、近年の全国的な運転手不足により維持・継続することが難しくなってきました。

もちろん、町域が広く、住宅や事業所が点在している立山町では、地鉄立山線のみでは、交通インフラの完成形とは言えません。電車が幹線道路（幹）ならば、普通免許で運転できるワゴン車を生活道路（枝）として整備することによって、“ちょうどいい” 町のかたちになると思っています。

事業者の皆様におかれましては、この機会に立山町における認知度アップのために、あるいは、従業員やお取引先の利便性を高めるために、公共交通を支えるチームの一員（パートナー）になることをご検討いただきますようお願い申し上げます。

立山町長

舟橋 貴之